

## ☆つくば市議会、医療的ケア児の発電機助成請願可決

朝日新聞デジタル 茨城 2018年12月22日

[https://digital.asahi.com/articles/ASLDP4CYGLDPUJHB008.html?fbclid=IwAR3F8EzH9t\\_Ezgwv-sclE55HRzPLZUsSd8WipPW-EkPCOIQnvISgIM4LfZ0](https://digital.asahi.com/articles/ASLDP4CYGLDPUJHB008.html?fbclid=IwAR3F8EzH9t_Ezgwv-sclE55HRzPLZUsSd8WipPW-EkPCOIQnvISgIM4LfZ0)

> 電動の医療機器を必要とする医療的ケア児の家庭に発電機の購入費助成を求める請願が21日、茨城県つくば市議会で採択された。請願者の団体は「停電時の命を支える大きな一歩」と歓迎するが、肝心の対象者の把握は十分ではなく、課題は残されている。

請願を提出したのは医療的ケア児の保護者らでつくる団体「かけはしねっと」。根本希美子代表（40）は採択を見届け、安心した表情を浮かべた。

長男侑弥さん（12）は生後間もない頃、心肺停止が原因で酸素が脳に届かない「無酸素性脳損傷」になった。現在も、呼吸を継続するためには日常生活で電気を用いた人工呼吸器や酸素濃縮器、たんの吸引器が欠かせない。9月末、台風24号で停電が約10時間続いたため、自費でカセットボンベを使う発電機を購入。「簡単には避難できないので、自宅で停電復旧を待つ人を支援して欲しい」と話す。

請願可決を受け、市社会福祉課の担当者は「重く受け止め、助成に向けた検討を進めたい」と話した。

国は2013年、災害対策基本法を改正し、1人で避難ができない人を把握する避難行動要支援者名簿を作るよう市町村に義務づけたが、医療的ケア児の災害時支援に向けた現状把握は遅れている。

つくば市は対象として、主に要介護度が高い人や身体障害者、知的障害者や精神障害者を挙げている。侑弥さんは身体障害者手帳1級を交付されているが、医療的ケア児でも、身体障害の程度を判定できない生後間もない子どもだと、名簿から漏れてしまう可能性があるという。県の実態調査によると、医療的ケア児は県内に390人。根本さんは「自治体は、積極的に医療的ケア児の情報把握に努めて欲しい」と話している。

…などと伝えています。

## \*発電機購入費に助成を 医療的ケア児の家族ら請願

朝日新聞デジタル 茨城 2018年12月17日

<https://digital.asahi.com/articles/ASLDG3DFPLDGUJHB002.html>

> 電動の医療機器を支えに生きている医療的ケア児の家庭に、発電機の購入費助成を求める請願が、17日の茨城県つくば市議会文教福祉委員会で審議される。請願した医療的ケア児の家族らでつくる団体「かけはしねっと」は、「長期間の停電が起きると命を脅かされかねない」と理解を求めている。

「かけはしねっと」は2016年11月の設立。つくば市を拠点に活動し、ひたちなか、牛久市なども含めて会員は約25人。

心身に障害がある医療的ケア児の中でも、電動の人工呼吸器やたん吸引器などを常時使っている子どもにとって、長時間の停電は命とりになりかねない。9月に起きた北海道地震では、医療的ケア児の自宅で機器のバッテリーが切れ、道外から輸送された発電機で救命されたケースもあったという。

つくば市内でも、かけはしねっとの女性会員宅で9月末、台風24号による停電が約10時間にわたって続いた。女性は復旧の遅れに備え、電源を使わない酸素ボンベを手配して待った。その後、「いつ長時間の停電が伴う災害が起きるかわからない」と、約12万円でカセットボンベを使う発電機を購入したという。

今回の請願は、市に対して医療的ケア児家庭の発電機購入費用の一部助成を要請。また、医療的ケア児を受け入れている県内の障害福祉サービス事業所についても、購入費用を助成するよう県への働きかけも求めている。

県の実態調査によると、医療的ケア児は県内に390人いるという。かけはしねっと事務局の山田由紀さん(41)は「県内で発電機購入に助成をしている市町村は聞いたことがない。つくばで請願が採択され、ほかの自治体にも支援の動きが広がってほしい」と話している。

…などと伝えています。

## \*つくば市議会 発電機購入、請願採択へ ケア児持つ家庭に助成

茨城新聞社 2018年12月18日 06:00

<http://nm.ibarakinews.jp/sp/2018/12/post-65359.php>

> たん吸引や人工呼吸器などの医療行為が必要な医療的ケア児などのいる家庭が、停電に備えて発電機を購入する際の費用の助成などを求める請願が17日、つくば市議会文教福祉委員会で審議され、委員の全員賛成で採択された。同請願は医療的ケア児を持つ親の会「かけはしねっと」(根本希美子代表)が先月20日に同市議会へ提出。今月21日の定例会最終日に採択される見通しとなった。

同請願は、医療的ケアを必要とする人のために、家庭や福祉避難所に指定されている事業所などが発電機購入で負担する費用の一部を助成し、支援する仕組みの整備を求めた。

同日開かれた委員会での審議で、根本代表が請願者として市議らに説明。「在宅生活で医療的なケアを必要とする人は、電動の医療機器を常時使っている場合が多く、24時間電源が必要となるため、停電は命の危機に直結する」として、今年9月末に発生した台風で同市内で停電が発生し、市内の医療的ケア児の家が約10時間停電し、電源を使わない酸素ボンベを緊急手配したケースなどを挙げた。同会は情報交換や交流を目的に2016年11月に設立され、約30家族が加入している。根本代表(40)は「発電機が必要な人や電源確保の大切さを知ってほしい。要介護者に対して市全体で考える機会になり、対策が少しでも進んでくれれば」と話した。県が県内9医療機関で調べた在宅の医療的ケア児の数は、390人、同市内で49人(4月1日現在)となっている。

…などと伝えています。

## ※両記事関連で……

△かけはしねっと FBホーム

<https://www.facebook.com/20161120Kakehashi/>

△請願30第3号

医療的ケア児等の家庭や関係先における発電機購入に対する助成に関する請願書

つくば市議会HPより

[http://tsukuba.gijiroku.com/g07\\_SeiganView.asp?SrchID=294&Title=%88%E3%97%C3%93I%83P%83A%8E%99%93%99%82%CC%89%C6%92%EB%82%E2%8A%D6%8CW%90%E6%82%C9%82%A8%82%AF%82%E9%94%AD%93d%8B%40%8Dw%93%FC%82%C9%91%CE%82%B7%82%E9%8F%95%90%AC%82%C9%8A%D6%82%B7%82%E9%90%BF%8A%E8%8F%91&keyword1=&keyword2=](http://tsukuba.gijiroku.com/g07_SeiganView.asp?SrchID=294&Title=%88%E3%97%C3%93I%83P%83A%8E%99%93%99%82%CC%89%C6%92%EB%82%E2%8A%D6%8CW%90%E6%82%C9%82%A8%82%AF%82%E9%94%AD%93d%8B%40%8Dw%93%FC%82%C9%91%CE%82%B7%82%E9%8F%95%90%AC%82%C9%8A%D6%82%B7%82%E9%90%BF%8A%E8%8F%91&keyword1=&keyword2=)

> ・受理年月日：平成30年11月20日 付託委員会：文教福祉委員会

委員会審査日：平成30年12月17日 審査結果：採択すべきもの

・請願30第3号

医療的ケア児等の家庭や関係先における発電機購入に対する助成に関する請願書 本文

[http://tsukuba.gijiroku.com/voices/GikaiDoc/attach/Se/Se294\\_H30seigan3.pdf](http://tsukuba.gijiroku.com/voices/GikaiDoc/attach/Se/Se294_H30seigan3.pdf)

## >> 請願趣旨

日頃より障がい福祉へのご理解をいただき心より感謝申し上げます。

私たちかけはしねっとは、医療的ケアを必要とする子どもたちと、その家族で構成する会です。在宅生活で医療的なケアを必要とする児・者(高齢者含む)は、電動の医療機器(人工呼吸器や酸素濃縮器、喀痰吸引器等)を常時使用しているケースが少なくありません。24時間電源が必要となるため、停電は命の危険に直結します。9月に発生した北海道での大規模停電では、心疾患により酸素投与が必要な医療的ケア児が、長時間の停電で予備バッテリーも含む機器のバッテリーが切れ、道外から輸送された発電機により救命されたケースがありました。9月30日の台風24号によるつくば市内の停電被害でも、医療的ケア児の家庭において約10時間停電したケースが発生しています。バッテリー残量を考えながら機器のイ吏用を調整し、電源を使わない酸素ポンペを緊急手配した上で、電気の復旧を待つ事態となりました。つくば市は、災害時において要支援者となりうる医療的ケア児が茨城県内で最も多く、本市においても停電に対する紺策が必要と考えます。自助による備えを進めるため、家庭や障害福祉サービス事業所および福祉避難所などに発電機購入を支援する仕組みを、自治体として整備していただきたく請願いたします。

### 請願事項

- 1、医療的ケア等を在宅で介護する家庭が、災害等による停電に備えて発電機を購入する際の購入費用の一部を助成してください。
- 2、重症心身障害児を主たる対象とする障害福祉サービス事業所が、災害時等による停電に備えて発電機を購入する際の購入費用の一部助成について、茨城県へ要望してください。
- 2、福祉避難所に指定されている事業所が、要支援者の受け入れに備えて発電機を購入する際の費用の一部を助成してください。

…などと伝えています。